

目的・特徴

当院の消化器内科は日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本内科学会総合内科専門医を取得できる学会認定施設であり、それぞれの学会認定研修指導医のもと、後期研修医は消化器内科の知識および検査手技を習得することが可能です。

消化器内科の扱う疾患は多岐にわたりますが、上部消化管（食道、胃、十二指腸）、小腸、大腸などの消化管疾患と、肝臓、胆道、膵臓疾患を中心に診療します。

学会施設等認定状況

- ・日本内科学会認定制度教育施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本病理学会病理専門医制度研修認定施設

主要疾患の症例数等（H22年度実績）

〈入院患者〉	
消化器系疾患	264
腫瘍	40
上部消化管内視鏡	1,303
下部消化管内視鏡	690

達成目標

3年次

指導医の指導のもとで、消化器系の患者の診療を行う

- 1.腹部診察、腹部超音波検査、消化管透視検査、上部消化管内視鏡、大腸内視鏡の習得を目指す。
- 2.血液検査、尿検査、糞便検査の理解、CT検査、MRI検査、MRCP検査の画像読影を習得する。
- 3.胃洗浄、腹腔穿刺、排水、イレウス管挿入、肝生検、経皮的ドレナージの習得を目指す。
- 4.症例カンファレンス、内視鏡カンファレンス、抄読会に出席し、病態の理解に努める。

4年次

指導医の指導のもとで、消化器系の患者の診療を行うと同時に研修医1年目医師の研修のサポートを行う

- 1.腹部超音波検査、消化管透視検査、上部消化管内視鏡、大腸内視鏡の更なる技術向上を目指す。内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査、内視鏡的胆管ドレナージ術、超音波内視鏡検査の習得を目指す。
- 2.食道静脈瘤結紮術、食道静脈瘤硬化療法、内視鏡的止血処置、内視鏡的ポリープ切除術、肝腫瘍内局所注入療法、ラジオ波療法、肝動脈塞栓療法の習得を目指す。
- 3.化学療法、化学放射線療法について理解し、治療を行う。
- 4.症例カンファレンス、内視鏡カンファレンス、抄読会に出席し、病態の理解に努める。経験した症例を学会、研究会で発表する。

5年次

指導医の指導のもとで、消化器系の患者の診療を行うと同時に研修医1年目、2年目医師の研修のサポートを行う

- 1.腹部超音波検査、消化管透視検査、上部消化管内視鏡、大腸内視鏡、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査の更なる技術向上を目指す。
- 2.食道静脈瘤結紮術、食道静脈瘤硬化療法、内視鏡的止血処置、内視鏡的ポリープ切除術、肝腫瘍内局所注入療法、ラジオ波療法、肝動脈塞栓療法の更なる技術向上を目指す。内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的胆管ドレナージ術（メタリックステント）の習得を目指す。
- 3.化学療法、化学放射線療法の治療を行う。
- 4.症例カンファレンス、内視鏡カンファレンス、抄読会に出席し、病態の理解に努める。経験した症例を学会、研究会で発表し、論文化する。